

2025.5月号

# 忍者鉄道通信

発行 伊賀線活性化協議会  
事務局 伊賀市公共交通課  
TEL:0595-22-9663  
FAX:0595-22-9694  
e-mail:koutsuu@city.iga.lg.jp

## 5月3日（土・祝）「伊賀線まつり2025」大盛況でした！

5月3日（土・祝）に「伊賀線まつり2025」が伊賀鉄道上野市車庫にて開催されました。定番の軌道自転車体験や運転シミュレーション体験、新コーナー「洗車体験」のほか、出店している鉄道各社から難問・珍問を集めた「鉄道クイズショー」など多種多様な催しが行われました。前日は大雨で心配されましたが当日は快晴となり、過去最高タイとなる3,500人の方にご来場いただき、会場や周辺は大変多くの人で賑わいました。

今回は、その「伊賀線まつり2025」の様子を写真でお届けします！



←開場前には駅前まで長蛇の列ができました



↑軌道自転車で普段は入れない車庫内へ！



↑ゆるキャラ®も来てくれ、会場は大賑わい



↑近鉄や伊賀鉄道の手作りのプラレール®車両に興味津々です



各社からの鉄道クイズにみんなで挑戦しました ↑

## Q 忍者線クイズ

伊賀線は1916年に開業し今年で109年となります。そこで109にちなんで、<sup>トーキュー</sup>現在、伊賀線を走っている東急車両に関する問題です。

伊賀鉄道のそれぞれの車両の前面をよく見ると、車両によって窓やライトの形が異なることに気づきます。では、この形の違いはなぜ発生したのでしょうか？

- ①車両デザイナーの意向で、様々な形の車両をつくりたかったから。
- ②余っている車両を各地から寄せ集めたら、バラバラの形になってしまった。
- ③伊賀鉄道に来る際に様々な改造をした結果、バラバラの形になった。



©松本零士/零時社

こたえは裏面へ→

## 伊賀鉄道のおトクな切符のご紹介

伊賀鉄道では様々なおトクな切符を利用することができます。そのなかから、今回は10月31日までの期間限定で発売されている「(ICOCA で GO)お茶と忍びの里まるごと満喫パス」をご紹介します。

### 【(ICOCA で GO)お茶と忍びの里まるごと満喫パス】

- (1) 発売期間: 2025年10月31日(金)まで  
※ご利用日の1か月前の10時から利用開始日当日15時まで発売
- (2) 利用期間: 2025年10月31日(金)までの指定した1日のみ有効
- (3) 価格: おとな 4,000円(1名 税込)※こども用の設定はなし。
- (4) 商品概要: 以下の5つがセットになった商品です。



- ① JR 線自由周遊区間(右図)のご利用
- ② 信楽高原鐵道(貴生川～信楽)1往復券
- ③ 伊賀鐵道(伊賀上野～上野市)1往復券
- ④ 道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」  
500円分のお買い物券(ティーバッグ付)
- ⑤ 伊賀流忍者博物館入館券  
(手裏剣打ち体験付)



### (5) ご利用方法:

- ・「KANSAI MaaS」でのみ発売(アプリまたは WEB)します。
- ・購入には「KANSAI MaaS」の会員登録、クレジットカード支払いが必要です。
- ・駅の券売機・みどりの窓口で発売はございません。
- ・なお、使い方の詳細などはJRおでかけネットの商品ページなどでご確認ください。



KANSAI MaaS  
公式サイトへ

※「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

### 【各画像出展・文章参考】

- ・JRおでかけネット (ICOCAでGO)お茶と忍びの里まるごと満喫パス  
([https://www.jr-odekake.net/railroad/ticket/tokutoku/iga\\_mankitsu\\_pass/](https://www.jr-odekake.net/railroad/ticket/tokutoku/iga_mankitsu_pass/))
- ・JR西日本ニュースリリース 「(ICOCA で GO)お茶と忍びの里まるごと満喫パス」を「KANSAI MaaS」にて発売いたします!  
([https://www.westjr.co.jp/press/article/items/250324\\_00\\_press\\_ICOCAdeGO\\_OchatoShinobinosato\\_Marugotomankitu.pdf](https://www.westjr.co.jp/press/article/items/250324_00_press_ICOCAdeGO_OchatoShinobinosato_Marugotomankitu.pdf))



## こたえ

(表面) 忍者線クイズ続き

③「伊賀鉄道に来る際に様々な改造をした結果、バラバラの形になった。」です。伊賀鉄道はすべて2両編成で運行していますが、東急時代は8両編成での運行でした。

東急から伊賀にやってくる際に、各車両を2両編成に分割しましたが、もともと8両編成の中間にいた車両には運転に必要な機器がなかったため、この時に運転台などを増設しました。この改造のため各車両によって前面の形が異なるのです。また、そのほかにも車内・車外ともに車両によってさまざまな違いがありますので、乗り比べてみると面白いかもしれません。



写真のように、同じ編成でもその前後で“顔”の異なる車両もあります。上の写真は、初めから運転台がついていたオリジナルの“顔”、下の写真は伊賀にやってくる時に運転台を増設した“顔”となっています。